

1年 生活科 指導計画

| | | | | |
|------------------|---|--|--------------------|--|
| 予定日時 | H30年 10月 日 (曜日) 9:15 ~ 11:20 | 授業担当者 | 梅木あゆみ・海洋ふれあいセンター職員 | |
| 参加人数 | 生徒 <u>11</u> 名 指導者等 <u>3</u> 名 | | | |
| 場所 | 海洋ふれあいセンター及び付近の海岸 | 協力者 | 能丸恵理子 | |
| 単元名 | きせつとともにだち～みなさんこんにちは～ さんぽのことおしえて | | | |
| 本時のねらい | 身近な里海の自然に諸感覚を使って接し、自然に親しむことができるようにする。 | | | |
| | 主な学習活動 | 配分時間 | 主担当者 | |
| | 1. 挨拶・着替え・安全指導 | 15分 | 梅木・センター職員 | |
| | 2. 海辺に行き初秋の様子を諸感覚で感じながら、海辺の自然と触れ合う。 ・秋の初めに取れる海藻を見る・採取する。(着替えなども入れて70分) カゴメノリ, ワツナギソウ, フクロノリ, マメタワラ, ウスユキウチワ, アマモ, ボウアオノリなど。 ※海藻が多く見られるところで観察する。このときは、 <u>海藻の名前だけ</u> を教えてもらう。 ・海藻を見て・ふれて、諸感覚でどのように感じたのか思考、表現する。 | 60分 | 梅木・センター職員 | |
| | 3. レクチャールームに移動し、改めて海藻の名前や生える時期などの簡単な説明を聞いて、海藻を確認する。(20分) *海藻はその日の午後からの授業で用いるため持ち帰りたい。 | 20分 | センター職員 | |
| | 4. 感じたこと、気がついたことを伝え合う。(10分) | 30分 | 梅木 | |
| 提供希望器材 | ・マリンブーツ ・箱メガネ5個 ・ライフジャケット | 荒天時の対応・連絡方法等 | | |
| 各自が持参すべき用具等 | ・普通のおおきさのタオル ・濡れた場合の着替え | ・当日、8:30に学校からふれあい海洋センターへ電話し、天候を確認する。状況が悪い場合は延期する。予備日は 日。 | | |
| | | 申請手続等 海洋ふれあいセンターに施設利用願いを提出 | | |
| 授業の実施状況、実施後の反省点等 | | | | |